

平成31年2月7日(木) 紀州新聞

「業界、地域発展へ一層努力を」

グランプリ受賞の吉田社長(ヨシダ)

グッドカンパニー大賞

手がけている。従業員は74人。年商は116億9100万円(昨年5月期)。
平成20年に地域経済を支えながら国内外の市場で活躍する中小企業を顕彰する経済産業省の「明日の日本を支える元気なモノ造り中小企業300社」に選定された。

公益社団法人中小企業研究センター主催の第52回(平成30年度)グッドカンパニー大賞表彰式が4日に東京・経団連会館で開かれ、最高賞のグランプリを受賞した畜産用資材・機械器具製造、鶏舎・倉庫等建築のヨシダエルシス(株)御坊市藤田町吉田1-5-1の吉田卓司代表取締役社長が出席し、前田晃伸理事長から表彰状、純銀製メダル、奨励金が贈られた。

全国の中小企業から経済的、社会的に優れた成果を上げている企業を顕彰するもので、今回は45件の応募があり、17社が受賞。グランプリは2社、優秀企業賞は9社、特別賞は5社、新技術事業化推進賞は1社。県内からは過去12社が受賞しているが、グランプリは(株)島精機製作所、ノリリツ鋼機(株)に続いて3社目。

あるグッドカンパニー大賞のグランプリに選ばれ、大変光栄であると同時に今後しっかりと頑張らなければいけないと大きな責任を感じています。栄えある賞に恥じないようなお一層努力し、業界ならびに地域発展のため尽くしたい」と話した。

ヨシダエルシス(株)は創業者の故・八五郎氏が昭和33年に日本で初めての配餌方式による手押し給餌機を開発して基礎を築いた。40年に法人化後、自動給餌装置、自動集卵装置等を開発し、それらを組み合わせた全自動養鶏システムを完成させた。全自動養鶏システムは国内鶏舎の主流でシェアは業界トップ。



表彰を受けた吉田社長と吉田会長(左から)

常に「鶏との対話」を欠かさず、日々、品質の改良、低コスト化に努め、鶏舎建築と内部設備を合わせた総合プラント会社の強みを發揮し、畜舎はもとより鶏糞処理施設やGPセンター、一般の大型倉庫や物流センター等の建設や断熱工事も